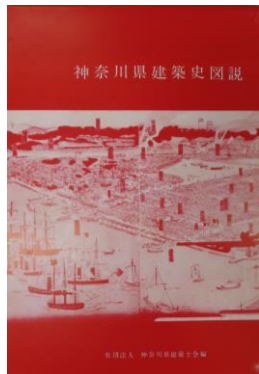


(仮称) 続かながわ建築ガイドの刊行に向けて
編集チーム 村島 正章

(1) 建築士会創立 70 周年記念としての図書刊行

本土会では、まず、1962(昭和 37)年に創立 10 周年記念として「神奈川県建築史図説」(以下「図説」という。)を刊行した。これは、古代から関東大震災までの県下の古い建物等を図や写真を多用して解説した大作で、学術的に大変高い評価を得たと聞き及んでいる。



続いて、1988(昭和 63)年には建築士図説委員会が設置され、関東大震災以降の建物を取上げた続・図説ともいべき記念刊行物の刊行を目指していたようであるが、折しもバブルが崩壊し、本会の財政状況が悪化したことから、編集作業も停滞していた。そのような状況の中、歴史的評価がまだ定まっていない平成時代の最新の建築作品も含め、県下の建物を広く取り上げ、県下各地の建物を鑑賞する手引書とした「かながわ建築ガイド」(以下「建築ガイド」という。)が 2002(平成 14)年に創立 50 周年記念として刊行されている。

巻末には、第 1 回(1956(昭和 31)年度)から第 46 回(2001(平成 13)年度)までの神奈川建築コンクールの受賞作品一覧などを掲載している。

その後、委員会は「建築史図説編纂特別委員会」と改組され、続・図説と呼ぶに相応しい「図説 近代神奈川の建築と都市」(以下「続・図説」という。)が星野委員長長の執念ともいべき熱い思いのもとで編集され、創立 60 周年記念として、2013(平成 25)年 3 月に刊行されたことは記憶に新しいところである。本書は、第一部で近代(幕末・明治維新时期から第二次世界大戦終戦まで)の建物等を取り上げ、第二部では建築家の岡氏が描いた県内の代表的な近代建築物の彩色立面図をカラーで掲載し、第三部では、刊行時点での県内の指定、登録建築物を一覧表にした 3 部構成になっており、私自身も編集に加わっている。



(2) 創立 70 周年記念刊行物の発行

建築ガイドは、別途入手したいとの希望を受け、神奈川新聞社から別に出版されるほど人気があったようであるが、365 頁を要してやや厚いことと、全編白黒印刷のため、現状ではビジュアル的に人目を引かないものとなっている。一方、続・図説は、学術的に大変貴重な史料であるものの、版が大きくて重く、街歩きには携帯できるものではない。

そこで、この度、2022(令和 4)年 2 月に創立 70 周年を迎えるにあたり、建築ガイドと同様の A 5 判で、ページ数を 150~200 頁に抑え、全編カラー印刷とする「(仮称) 続かながわ建築ガイド(会員が選ぶ昭和の建物)」を記念刊行物として刊行するべく、作業を開始したところである。副題で示すように、令和の時代に入り、二時代前となった「昭和の時代」にス



ポットを当て、建物の解説だけではなく、建物に併設されている飲食店などの店舗情報も加えた、広く県民に活用してもらえものを刊行したいと考えている。

取り上げる建物については、

会員全員から広く推薦していただくことスマホ、パソコンで応募できるスタイルで、9 月から 2 か月間募集させていただいた。この後は、掲載基準を設けて掲載建物を選定することとしているが、なるべく県内全市町村に 1 つは掲載していきたいと考えている。本編で紹介できなかった建物は巻末に推薦リストとして載せていくことも検討している。

掲載に当たり、推薦していただいた建物が現存しているか否かの確認は、是非、支部の皆さんにご協力をいただいで実施したいと思っている。

掲載内容については、すべてが固まっている状況ではないが、学識経験者と会長等との座談会を実施して、その内容を取り上げたり、いくつかの建物を巡る散策コースマップも作成して、本を片手にまち歩きをしていただけたらと思っている。刊行後、ツアーガイドも企画したいとも考えている。

来年度末に刊行するためには、印刷原稿を遅くとも来年 12 月末までにアップする必要があり、今後急ピッチで編集作業を進めていかなければならず、大変荷が重く感じるが、何とか楽しい本が仕上がればと思っているので期待してほしい。

コロナ禍、何してた？

新型コロナウイルスの流行により様々な活動の自粛、緊急事態宣言の発令があり、2020年2月頃から働き方や日常生活が大きく変わった事かと思えます。コロナ禍の記録・後々の振り返りのために、「コロナ禍、何してた？」と題して自由なコメントをいただく企画の第2弾をお届けします。今回は広く会員の皆さんに参加していただきました。寄稿いただいた皆様ありがとうございました。(編集部)

コロナ禍、今年初めにダイヤモンドプリンセス号の乗客が罹患したとの報道があつてから7ヶ月、これほど長く続くとは思っていませんでした。対岸の火事の様にも捉えていましたが、怖く感じたのは重症化すると死まで早いという報道を聞いた時でした。自身が感染しているかどうかを簡単に確認できない検査体制にも不満がありました。コロナ禍で得たものとするれば、帰宅して手を洗う事にめんどくさい感がなくなった事です。またWEB会議の良さを実感出来た事も収穫です。東日本大震災で得た習慣は、無駄な明かりを消すようになった事です。体験しないと治せない自身の性格も分かった次第です。

防災委員会 東 二郎

コロナ禍は、自宅で娘と過ごす時間が増え、細やかな成長を感じる瞬間も多い中、保育園登園自粛要請中のエピソードをご紹介します。娘との時間が取れる時に限って仕事は忙しい。



パソコンの前にいるママを何とか振り向けようと、段ボールのノートパソコンをドヤ顔で見せる娘。画面には、入居者と介護士が個室で楽しそうにお話している絵が描いてある。仕事の電話内容も聞いていたのか、彼女なりに特養の生活を想像した作品で、医師が入居者を診察するお人形遊び付。わが家のコロナ禍は、建築士の卵が誕生するきっかけ、様々なお仕事体験遊びを作ったようです。

横浜支部 有泉 絵美

幸いにも、自宅から事務所まで徒歩圏のため、ずっと変わらず通勤しています。ただ、夜の会合もな

くなり、夕食作りが日課となりました。新型コロナウイルスの感染は、高齢者が重症化との事。食事が重要と、バランスの取



れたメニューで免疫力を上げる事を心がけています。密を避け、週1回の買い物、効率良く食料品を使い切ると決め、料理を作るようになりました。ここで活躍しているのが、冷凍庫です。子育て、共働きの娘たち家族へ、料理を届け、作った料理を家族LINEにUPし、娘たちに料理を伝えるようになりました。

* カラーピーマン肉詰めピーマンソース煮込み
横浜支部 雨森 隆子

私の周辺、つまりミクロな環境は元々職住近接であつたため、あまり大きな変化はなかった。事務所もゆったりした空間なので所員も普通に出社してきた。変わったことは、海外へ行くことが無くなったこと、代わりにモニター越しに会話をする機会が増えたことくらいで普通に仕事をしていた。しかしマクロな環境はこれから大きな変化を迎えると感じている。

すでに人の移住が始まっている、我がまち小田原も東京では得られない価値をどのように育てるかが今後のまちの生死に関わる重大事項である。本当の意味での住環境の多様化は始まったばかりだ。

小田原地方支部 櫻井 泰行

前号の寄稿で「あれ、同じことやってる」という会員も多かったのが、撮りためた写真の整理や、本・CDの断捨離。

1枚の台紙に12枚収納できる写真帳は通販でも品薄だったから全国的な傾向のようだ。断捨離の方はポジティブな意味というより「終

コロナ禍、何してた？

活」の一環。

両親の死後に残された膨大な書籍の処理に往生したこと、今のうちにやっておかないと子や孫に恨まれる。ということで初めてブックオフを

BOOK-OFF		値引増金額	TAX
BOOKOFF 相模大野店 042-749-5510		劇場工学と舞台機構	¥300
		値引増金額	¥60
		考え方・まとめ方 屋内配線設計	¥50
		値引増金額	¥10
読み終わった本、聞きあきたCD、遊びあきたゲームソフトをぜひお売り下さい。詳しくは、店舗までお問い合わせ下さい。		見方・かき方 電気用図記号	¥150
2020/05/23(土)13:28 (10540,01)		沈黙のフィロ	¥30
<<買取>>		値引増金額	¥5
		警察署長(下)	¥1
		値引増金額	¥1
		ことばの国	¥5
		値引増金額	¥1
		モバイル「エンジ」の思想	¥70
		値引増金額	¥14
		リ「エ」を撃て(下)	¥10
		値引増金額	¥2
		ヨコバ級光「リス	¥5
		値引増金額	¥1
		又庫	¥5 × 4
		値引増金額	¥20
		少年コミック	¥4
		少年コミック	¥1 × 4
		少年コミック	¥4

利用。それにしても査定額の低さに驚く。本5円、CD30円が平均だが、意外な高値がつくものもある。そもそも本やCDから情報を得る時代ではなくなったということか。

県庁職域支部 長田 喜樹

WHO パンデミック宣言から半年が過ぎた。コロナウイルスは残酷なまでに人と人を切り離し、移動を制限、人と人とが集まることをできなくした。With コロナ社会を前提に、「書面・画像・対面」



を原則としたビジネス、教育慣行の見直しが迫られた。否応なしの巣ごもり生活の中で、遠隔授業やWeb会議が始まった。分断されるのは国や地域間だけでなく家族、職場、活動の場が隔離された半年だった。過去とは違う新たな日常を模索しよう。でも、人間の本来的要求である、集まり、飲食を通じた会話と交流を懐かしく思う日々である。

* 減便により翼を休める飛行機(羽田空港)
湘南支部 長瀬 光市

酒を飲みながら馬鹿話をする。コンサートで盛り上がる。いろいろな人とお友達になる。これが生きがいだったと気づいた。庭先にある設計事務所は打ち合わせ、イベントがなくなり淡々と日常が続いた。むしろじっくりと設計ができた。毎日の食事は僕の担当で近所の八百屋、魚屋に通い普通の家庭料理を作り続けた。近くの浜辺まで散歩もした。TVをつければ「あなたは立派な社会の一員なのだ。」といわんばかりで連帯感を煽る。社会の何かが壊れ始めている。コロナ禍が終息してはたしてあの、楽しい日常に戻るのか。それとも新たな日常があるのか不安を感じながら過ごしている。

湘南支部 梅澤 典雄

緊急事態宣言が出されましたが、基本的にテレワークが難しい仕事のため感染防止に心掛けつつ恐る恐る電車通勤の毎日。ところが、電車は時刻通りで遅れが全くなく、乗客は1両に数人、駅はガラガラの非日常を

体験。自宅では、日頃、防災備蓄を兼ねて買い溜め癖がついていたため、マスク、除菌・消毒グッズ、紙製品など潤沢にあり、朝からドラッグストアに並ぶ必要もなく、幸いにして平穏な日常生活を送ることができました。ステイホームのため、休日は終活を兼ねて？家の片付けに専念。ゴミが山ほど出ましたが、これも氷山の一角、まだまだ捨て足りないと感じている昨今です。



県庁職域支部 小川 嘉一

外出自粛を受けて実行したのは、まずは日頃目を逸らしていた自宅の営繕！

①隣地境界線上に自生の樹木伐採。隣宅ポーチのタイルの浮き上がり原因に！

コロナ禍、何してた？

ひと月ほどかけて両側から樹を少しずつ切っていくことでお隣さんと親交を深める副産物あり。



気をよくして

②玄関引戸の修理。重い板戸の戸車の交換を息子とDIYで行う。

③ 屋上庭園の芝刈り。TVショッピングに触発され高齢の母も使える安全性の高い草刈りトリマーを購入。

航空写真から作図した住宅地図では建物形状がなく更地扱いの我が家。

(築30年の自生庭では仕方ないか。)

今回の気付きは「住まいと庭が繋ぐ家族の平和」でした。

横浜支部 茶谷 亜矢

運動不足とストレス蓄積で不調を感じていませんか？そこで、おススメなのが『スポーツインストラクターとのリモートレッスン』。数人同時のレッスンで1回15分、週3回。コストは1回当たり200円強(安い!)。欠席の場



合は録画で自己演習。写真は深呼吸のレッスン。本格的な深呼吸は気持ち良いけどキツイですよ。画面越しでも私の詳細な動き・改善箇所をプロは見抜きます。15分の運動でもプロの指導だと心身に心

地よい負荷がかかっているのが良く解ります。リフレッシュ感も大。心身のリバランスがとれます。『紹介制』なので興味ある方は私にご連絡ください。総務企画委員会 山成 芳直

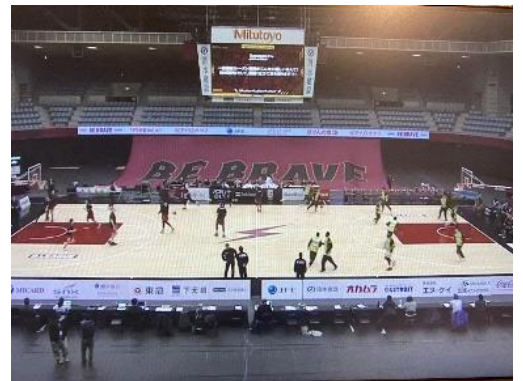
人と人とが紡ぐ多くの活動でもウイルスに感染するリスクがあるらしい。通信技術が進歩した今、少人数でも双方向の情報・意見交換によっても、情熱や温かさは伝えにくい。私たちは、Eメール・電話という手段で総会開催の検討をした。

総会に替えて会員に資料(活動方針など)を郵送し、同封の返信ハガキにて意見を貰う方法を採用した。バスによる四支部合同見学会は見合わせとした。建築士定期講習会は、三密対策を講じて開催した。必要な活動は、万全な対策を用いて対応しなければならないのだろう。

現在の異常な状況が早期に改善され、人間らしく活動できる社会に戻ることを祈ります。

県央支部 西方 正之

今振り返ると、仕事的には特に変わったこととはなかったと思います。設計事務所の『図面を書く』という作業



は、環境にあまり影響されないのでありがたいな。と感じました。とは言え、スポーツ関連の何もかもが、無観客試合へ。払い戻しされたチケットは数知れず、無観客試合をネットで見ると日々が続きました。川崎はスポーツが強く、バスケはポストシーズンでも優勝・・・できたはずなのに、結局シーズンは全て中止に。今年もシーズンが始まりましたが今まで通りの環境ではない会場へ、足を運ぶのもなんとなく躊躇しています。払い戻されたチケット代でテレビをサイズアップでもしますかね。

川崎支部 村山 勉

一週間の半分ぐらいは会議やいろいろなイベントで外出していたのですが、コロナの影響でほとんどなくなり、外出は事務所に通うのみ。事務所も自宅から 30 秒の距離なので毎日の運動



は往復 1 分程度の通勤だけになってしまいました。今までは定期的にゴルフやシーカヤックに行っていたのですが、行くことができず、かなりの運動不足に陥りました。その代わりに、時間に余裕ができたので前々からやろうと思っていた事務所の床の張替えを自分で行い、当然床の張替えなので机や本棚も全部移動しなくてはならないのでカタログや資料の整理を一気にやることができました。

CPD・専攻建築士制度委員会 水田 敏弘

あれっ？
なんかこの前も似たような原稿を書いたような気がする… (笑)



まあそれは良いとし

て日々の業務は変わることなく淡々とこなすもので「コロナ禍だから」という面で劇的に変化したという印象は希薄である。

むしろ実務より建築士会や神事協の支部や各委員会の会合の方が大きく変わったなど、そして対面で行う必要性の在り方も改めて考えさせられた。建築士事務所の業務は在宅（インドア）が基本で今日の時流と親和性が高い。web 申請システムも普及し工事監理や検査立会等対面が不可避なものも近い将来オンラインで検査が一般的になるだろうか…

中支部 矢野 高

*** 今回の皆さんのペーソス&ユーモアあふれるエピソードを披露していただきました。皆さんのエピソードも是非お寄せ下さい。***

子供達が高校を卒業した辺りから仕事が忙しいと「今日も勝手飯で!」という生活が 10 年近く続きコロナが始まり私は現場・打合せが延期になり PT になった息子は、コロナ関係無、なので図面等は持ち帰り「勝手飯」にはしないよう自宅で仕事する事にしました。

週 2 回の買物、食材を無駄にする事も無く、レシピもたくさん試しました。医療現場もマスクが足りないと言われマスク作りにも精を出し念願の「断捨離」にも少し手を付け始めた所で緊急事態宣言が解除され慌ただしい日常が戻ってきました。今、思えば、今までで一番、穏やかな暮らしと母親らしい事が出来た 2 ヶ月だったと思います。

相模原支部 有泉 ひとみ

毎年 GW 前半に家内とお城巡りや県ゆかりの人物の歴史を訪ねる旅行に出かけ、後半は県庁庁舎公開の解説・案内を行っていましたが、県外旅



行自粛、庁舎公開全面中止となり、慌ててホテルキャンセル。家内からも毎日貴方の顔を見たくないとの一言。唯一県庁のブルーライトコロナを娘と見に行ったのが思い出です。

6 月に一旦沈静化したので今度こそと思ったのも束の間、7 月再び感染者が増加、またもやホテルキャンセル。

8 月には昨年亡くなった両親の新盆なので、実家の群馬に行く予定でしたが、感染者が多い神奈川から来ないでと、実妹からまさかの拒絶で家内は憤慨。散々な今年前半でした。

県庁職域支部 村島 正章

～ミニメイク講習会・眉毛メイク～

女性委員会 雨森 隆子

業務を受ける決め手となる接客は、最も重要な建築士の業務とされます。初対面の初頭効果で、その人の印象が残り、その後の評価にも影響を与えていると言われています。女性は、男性に比べ、身だしなみで判断される事がある様に思われます。仕事となれば、それに相応しい服装やメイクを求められます。その中でも顔の表情は、特に、印象付けます。



眉によって表情が変わるイラスト

“メイクで好印象に”と女性委員会では、メイクについて学ぶことになりました。メイクの指導をしている会員を講師に、7月より始まりました。

- ・1回目は、「眉毛メイク」の基本をリモートで受講。眉毛の描き方で、TPOに対応できるという事。
- ・2回目は、士会会議室で、眉毛の描き方を実践。眉毛の描き方1つで、知的に、優しくなど、こんなに印象が変わるの！！と描き方のポイントを押さえれば、好印象の眉毛になることに、驚きました。メイク講習は、今後も続けます。女性会員の皆様、ご期待ください。



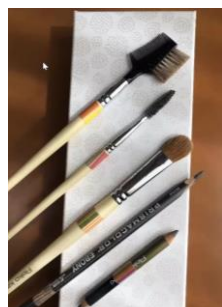
講師(石田尚見)談

「眉毛の描き方の基本さえ押さえれば、あとは自分の好きに描けるようになる」ということで、基本の描き方を学びます。一緒に基本をマスターしてなりたいた自分になりましょう。

←実践の様子



眉毛の描き方



メイク眉毛を描くときに使用する道具

～和の空間見学会 小田原～

女性委員会 石田 尚見

9月8日、コロナ対策をしながら小田原にある「千世倭樓（ちよわろう）」を見学してきました。小田原といえば蒲鉾の「鈴廣」ですが、その鈴廣さんが手がけた【鈴廣かまぼこの里】の一角に「千世倭樓」があります。



母屋外観



「千世倭樓」の名前には「千年の世（千世）にも続いていく、調和（倭）のとれた世の中の象徴たる建物（樓）であれ」との願いが込められているといわれています。「日本の素晴らしい伝統文化、和の心を大切にしたい」、「小田原に生まれて良かった、日本人で良かったと思ってもらいたい」...小田原に生まれ育ち145年以上もの歴史を背負う鈴廣さんだからこそこの思いがひしひしと伝わってきます。

景観の邪魔になる電柱はすべて地中に埋め、「お客様にくつろいでもらう」ことを徹底しました。

建物は母屋、土蔵、離れで構成されています。母屋は、江戸末期から明治にかけての秋田の山林王「菊池家」の自宅を移築したものの、書院造といふものの、大きな秋田杉の梁と高い天井に圧倒されます。土蔵の重厚なる扉の内側は息を呑むほどの総漆塗り。この2つの建物は国の登録文化財となっています。



母屋内観



土蔵扉



土蔵内部

離れは、合掌造りで、飛騨山地と富山県八尾町にあった江戸中期の建築2軒を解体、合体させたもの。すべて木組で、一部しゅろ縄で嚴重に結ばれています。釘を一本も使わない工法にこだわり、京都からわざわざ宮大工を呼び集めたといわれています。登録文化財を活きた形で使用していく苦勞・・・いや、楽しみも何うことができ、とても楽しい見学会でした。建築士会の皆様も是非このコロナ禍で縮こまった気持ちを日本の家屋に、小田原の自然に癒されてください。



←離れ内観囲炉裏

ホームページを有効活用しよう！

情報広報委員会 田中 敦史

神奈川県建築士会のホームページが今のデザインにリニューアルされてから11年が経ちました。その間ネットを取り巻く環境は急速に変化し、更に進化を続けています。昨今ではコロナ禍による影響で、1年前には考えられなかったオンライン会議が当たり前になり、リモートワーク等も浸透する事で“オフィス”の在り方すら変わろうとしています。

我々の業務でも、以前のように取り寄せたカタログを無造作に積み上げるようなスタイルから、タブレットやスマホに電子データのカatalogを入れ簡単に持ち歩く等、スマートで無駄の少ないスタイルへと変わってきています。

これらホームページを含むネット環境を有効に活用する事が今後の社会で豊かに過ごすための一つのアイテムとなりつつあります。そんな中で建築士会の会員の皆様にとって比較的身近な「神奈川県建築士会」のホームページを改めて見つめ直し、理解を深めていただけるよう解説をさせていただきます。



神奈川県建築士会ホームページ

① 建築士向けのコンテンツエリア

建築士会会員に限らず、建築士資格を持つ全ての方々へ向けたコンテンツを集めたエリアで、代表的なコンテンツについて解説します。

【資格の諸手続き】

全ての建築士に関係する申請や変更等の手続方法や、申請書をダウンロードできます。一級建築士のみ連合会ホームページでの手続きになるため外部リンクとなります。

【講習会・イベント】

②のエリアと連動しており、最もよく閲覧されるコンテンツかと思えます。

【書籍等のご購入】

四会連合協定の契約書等の書籍をFAXか郵送で注文いただけます。(会員は10%OFFです)

神奈川県内の市町村で実施している様々な防災に対する補助制度や災害時のマニュアルを“防災委員会”にて取りまとめた物を青・緑・オレンジのバナーから閲覧できますので、耐震診断等を具体的に実施している方は是非ご活用ください。

情報広報委員会で発行している「SALON」のダイジェスト版も閲覧できるよう、2014年の7月号より整備しています。是非ご覧ください。

② 主要なお知らせエリア

建築士の皆様をはじめ、一般の方々に向けてのイベント情報等を発信しているコンテンツです。「最新のトピックス」は試験の情報やコンペの募集等、幅広いジャンルのトピックスを取り扱っています。

「講習会・イベント」では建築士会や支部・委員会主催の催しもの等の情報を発信しており、お堅い講習会からレジャーまで掲載されています。

「行政からのお知らせ」では建築士にとって大変重要な法律改正等の公的な情報をいち早く発信しております。

③ 広告・宣伝エリア

有料にてバナー広告を掲載するエリアで、建築士会による審査はありますが、様々な企業や個人でも掲載可能です。建築士会会員・賛助会員・特別会員の場合は半額で掲載が可能です。

他にも各支部・委員会の情報や定期講習のお知らせ等、皆さんそれぞれに必要な情報が詰め込まれた当ホームページを今後も積極的にご利用ください。

「委員会再編と会員増強について」

活性化特別委員長 上原 伸一

活性化特別委員会もコロナ禍で活動を制限せざるを得ず、委員会開催は3月以降暫く開催を控え7月から再開しましたが、この間にも理事会、総会での協議をはじめ委員会再編及び会員増強関連事業は継続してまいりましたので、本号で現在の状況をご報告させていただきます。

委員会再編については、再編案に対する各委員会からのヒアリングが終わり、見直し作業を開始、7月31日の理事会に「委員会の再編について」「委員会再編案」「今後の委員会再編について」を提示し協議いただきました。

また現在各委員会に対しましては、再度のヒアリングの代わりに文書照会による意見をお願いすることにしましたが、一方会員の皆様にも建築士10月号に概要を同封させていただきご意見を求めさせていただいたところでした。

ただし、今年度も重点事業として掲げられている委員会再編への取り組みではありますが、コロナ禍での各委員会活動も控え事業実施もままならない状況の中で、新委員会体制への移行への準備、移行作業をおこなうことは委員会活動への妨げにも繋がりにくいと見え、現委員会が一定の活動水準に戻るまでの間は新体制への移行の実施は留保させていただくこととしました。

会員増強ですが、こちらもコロナ禍の影響を受け、建築士会を知ってもらうために始めた「お試し会員」制度の特典を受ける機会を失い、昨年の中風の影響で一級・木造合格者と二級合格者の発表がずれたことにより別日程になった恒例の免許交付式が内容規模とも縮小せざるを得ない状況となりました。

また、新しい建築士制度により「免許交付式」や「お試し会員」制度を今後どうするかなど新たな問題も生じ、退会防止も含め、多くの課題に取り組んでいく必要があります。

当委員会でも今まで取り組んできた内容と今後の問題点や提案等もご紹介させていただきますので、会員の皆様のご協力、またご意見をお願いいたします。

1. 会員増強(入会促進、退会抑制)への取組状況

- ①免許登録時の案内：会員の皆様にご協力いただき、建築士会の案内及びお試し会員への勧誘
- ②免許交付式：新たに建築士となられた方々と会員との交流の場を設け会員に勧誘
- ③お試し会員制度：建築士会を知ってもらうため、期限を決めての特典、優遇制度
- ④会員増強支部支援金：会員にとって身近な存在となる支部での増強に期待した支援制度
- ⑤入会案内作成：いつでもどこでも簡単に入会

手続きを行えるように、入会案内用として作成
⑥会員紹介 情報提供：試行として理事役員のアンケートより、趣味、グルメ情報、夢、こだわり等の会員情報を作成し、SALON4月号に同封

⑦退会理由：退会防止策の参考とするために新たに退会理由の記載欄を設け分析

⑧賛助会員へのアプローチ：建築士会の会員として賛助会員への積極的な増強活動

※以上今までの代表的な取り組みを紹介していますが、会員増強はオール神奈川建築士会として取り組むことが一番重要なことだということで、今までも会員の皆さまにお願いしてきていたところでした。

2. 建築士制度改正の対応

①試験合格者への対応(取込み)：新たな会員資格を創設し名称を検討(準会員、合格会員、プレ会員、みなし会員、もうすぐ会員等)、会員への導入を図る

※連合会と連携して取り組みが必要

②免許取得者への対応：免許登録時が通年になることへの対応、免許交付式の開催方法、お試し会員制度の期間等の見直しを検討

③実務経歴への協力：建築士会で協力できることの検討

3. コロナ禍での今できることの検討

①会員の証(接点の充実)：サロン、メルマガ、支部の情報提供等の充実を図る

②会員のメリットの見直し：イベントのあり方(リモート等の実施)、情報のあり方(双方向)、C/P/D等制度の見直し(単位取得に向け)の検討

4. 新たな取り組み

①会員紹介の展開：今後、会員の皆様からも情報提供いただき、同好の士の集まり、グルメ提携店の紹介、同窓・同郷の集まり等へ発展し、新たな話題の提供の場、魅力作りに繋がることを期待

②賛助会員入会促進：賛助会員候補リストの活用による入会勧誘とメリット創出の検討

③退会抑制：消費者への会員紹介の場として、建築士を探そう等の見直し(専攻建築士等との整理)による会員メリットの検討

④試験合格者へのアプローチ：情報収集の方法として、資格取得対策校との関わり方ほか接点の場の検討

⑤連合会との連携によるメリット創出：建築士バッジ(現況は建築士会バッジ)創設及びバッジ発行機関の実現を目指し連合会へ提案、等連合会と連携し増強に繋がる会員が誇れる団体を目指す

湘南支部の近況

丹治 一郎

(シニア会員向け企画)

令和2年度の湘南支部は他支部同様、目に見えないコロナ禍に翻弄され、思うように企画実施がまともでない中、8月8日(土)、第2回目の「シニア会員向けの企画」の「立体折り紙を作ってみよう」に参加。春日講師の指導のもと、参加者が僅か3名という状況の中で「亀とヒオウギ貝」を体験。作り方は鶴を折る手順の途中で立体的に見えるように息を吹き込む工夫をし、亀らしく見えるように折り込んで作りました。その後、紙の色や大きさやを変えて変化を楽しむことができる立体折り紙の魅力。その一端を体験することができました。私はヒオウギ貝



立体折り紙作り、亀とヒオウギ貝

作りはパスでした。

今回は「鶴」を作成予定とのこと。たかが折り紙、されど折り紙。とりつかれると手が止まりませんよ。



まさに指先で覚える感覚は年齢を重ねたシニア世代の私にとって貴重な体験でした。

(建築士定期講習)

8月18日(火)藤沢商工会館ミナパークで建築士定期講習を実施しました。受講者22名が出席し、講習会は昨年と同様でDVD方式で実施しました。梅澤支部長が講習責任者で進行し、春日特別講師とスタッフで時間どおり開講し、昼食・休憩時間を挟み映像方式による講習と修了考査を実施しました。

講習途中で音声は流れるも画像が中断してしまうというアクシデントが発生しましたが、スタッフの機転でケーブルの交換作業で故障が回復し、事なきを得ました。受講中は寄せくる睡魔と闘う受講者も散見されましたが、大事な定期講習ということで、丸一日の長丁場を無事終了しました。受講者、本部・支部スタッフの方々、お疲れ様でした。

会員さろん

BIOTOPE(ビオトープ)Ⅱ

県央支部 南雲 一郎

BIOTOPE(ビオトープ)の近況は、時折、カモのつがいの飛来、アオサギの餌のついでに観察されています。梅雨から夏場には雑草の繁茂が著しく、刈払い機での作業を数回行いました。ここにきて涼しくなり、9月下旬にビオトープの水路まわり草取りを行いました。あいにく小雨でしたが。

この日は、近くの小学校の運動会があり、小さな来客はなく、大人どもの作業でした。このところ、クレソンが元気に葉を広げ、畔には彼岸花が咲き、秋の訪れを告げています。

水路の生き物の調査も予定したのですが、子供たちの都合により、次回に。とりあえず、数カ所でタモをいれてみました。カワニラ、川エビが多く、メダカ、ヤゴも少し、ドジョウ数匹、沢ガニは今回見つけませんでした。

三枚ある田んぼの上段がビオトープ。中段と下段では稲穂が垂れ始めてきました。ここからは、田んぼの作業をお伝えしたいと思います。

例年、春先の寒い内に、近くの裏山に入り、堀割状の山道に積った桐、小檜、楓などの枯れ葉を集め、軽トラックで、数回田んぼに運びます。最近山ヒルが増え、被害多発。しかし、冬場は、落葉のうえ

に寝転んでも、襲われる心配はなく、ひとやすみしながらの作業です。堆肥づくりは、田んぼの稲わら押し伐りで切り(これは力仕事で交代しながら)、糠と水を撒きながら積上げシートで覆います。

種まきは5月の連休明け、巾5尺長さ25mほどの苗床にウルチ米、モチ米、赤米の種をまき、覆土し、寒冷紗で覆い、端部に土を盛り押えます。40日ほどで田植えが出来るまでに育ちます。手植えですので、少し長めに育てます。

この次は、田植えに備え、代掻き、水平取り。苗取り、そして田植え。この後は、田の草、待望の稲刈り、さらに年末の餅つきと進みます。これらは、また別の機会にお伝え出来ることを願っています。

ビオトープの手入れをするみなさん



令和2年7月31日（金）に神奈川県建設会館2階講堂において「令和2年度第1回支部長委員長会議」が、また同日同じく建設会館2階講堂で「第374回理事会」が開催されました。

支部長委員長会議は今年度初めての開催となるほか、理事会については373回理事会（令和2年5月20日開催）及び臨時理事会（同年6月29日開催）が書面開催となったことから、久しぶりの会議形式での理事会などの開催となりました。

新型コロナウイルスの影響により、令和2年度の建築士会の主な会議や行事が軒並み中止または書面開催となっていることをうけ、今後の建築士会の活動についてなどが議論されましたので、その主な議事内容等を要約して報告いたします。

【第1回支部長委員長会議】

新型コロナウイルスの影響から、各支部・委員会においてWebによるリモート会議実施が徐々に広まりつつあります。各支部・委員会から現在の対応状況についての意見交換がなされましたが、リモート会議を実施するにあたってのWeb環境については、支部委員会とも組織的な対応がなかなか追いついていないとの報告がありました。

また、各支部委員会が開催する講習会等も軒並み休止又は中止になっており、今後予定するイベント等の開催方法が課題となっています。一方で、令和2年度の建築士定期講習会については参加人数を縮小しているものの、DVDによる講義方式で順調に開催されていることが報告されており、開催方法を考慮することも検討すべき点のひとつではないかとの意見もありました。令和2年度の建築士定期講習は年内にあと4会場で開催される予定です。

【第374回理事会】

1 主な議事について

支部長委員長会議終了後に行われた第374回理事会では「建築士会の今後の活動について」等が協議事項に挙げられました。

支部長委員長会議でも取り上げられたとおり、新型コロナウイルスの影響で支部委員会の様々な活動が休止又は中止となっています。建築士会の活動の多くは、講習会や見学会、親睦や交流など、人の集合によるところが大きく、いわゆる「3密」を避ける新型コロナウイルス感染防止の観点とは、基本的に相反するものとなっています。

このため、今後の建築士会の活動について、「新たな活動方法」として、①インターネット環境を利用した「Web会議」を活用すること、②各種講習会等を「Webセミナー」として開催すること、を検討し

ていくことが提案されました。

これらの「Web会議」等を開催するにあたってはパソコン関連機器などハード面や開催ツールなどソフト面の用意が必要となりますが、基本的なシステムについては建築士会事務局で用意することとし、必要となる機材等の整備は、今年度予算の管理費や事業費、状況によっては予備費から充当して行うことが提案され、了承されました。

2 報告事項

SALON 96号（令和2年8月発行）でお伝えしたとおり、本会相談役の大川友理枝さんが「令和2年度県民功労者賞」を受賞されたことの報告がありました。本会から同賞を受賞するのは、大川相談役が8人目となります。

3 入会承認について

理事会において、新規正会員9名（横須賀支部1名、川崎支部2名、湘南支部1名、横浜支部5名）との入会承認と、正会員1名、賛助会員1名の復活入会が承認されました。名簿を以下に掲載します。

（1）正会員（12名）

会員番号	氏名	業種	支部
9982	若杉 和仁	不動産業	横須賀
9983	持田 理美子	建設業	横浜
9984	川田 邦一	建設業	湘南
9985	北堀 真一	建設業	横浜
9986	池邊 文亮	建設業	横浜
9987	田嶋 友一朗	建設業	横浜
9988	加古 晃	工務店	川崎
9989	早川 道敏	建築士事務所	川崎
9990	堀川 岩夫	建築士事務所	横浜

（2）復活正会員（1名）

会員番号	氏名	業種	支部
8686	竹田 二郎	建築士事務所	横浜

（3）復活賛助会員（1名）

会員番号	社名	業種
182	(株)イケダコーポレーション	建材業

令和2年7月28日現在での会員数

会員種別	会員数
正会員	2,534
準会員	5
賛助会員	60
特別会員	10
合計	2,609